

令和5年度仙台市若林障害者福祉センター在宅障害者・一般市民向け教室 「モルック体験教室」

令和5年9月19日
仙台市若林障害者福祉センター

去る令和5年9月16日（土）仙台市若林障害者福祉センター1階日常生活訓練室にて、令和5年度仙台市若林障害者福祉センター在宅障害者・一般市民向け教室「モルック体験教室」を開催しました。

今回は仙台市障害者スポーツ指導者協議会 戸田勇治 氏をお迎えし、7名の方に参加していただきました。

初めてモルックを体験する方がほとんどでしたので、ルールなどについて教えていただきました。

モルック（棒状の木）を3～4m離れたところから投げて交互に、12本のスキttl（数字が書かれている木のピン）を倒すゲームで、倒れた本数や、倒れたスキttlの数字が得点となり、いずれかのチームが合計50点を先取した時点でゲーム終了となります。

始めに、ひとりずつ交互にモルックを投げて練習を行いました。その後2チームに分かれて試合を行いました。対戦の最中に、得点の数え方や50点を超えた場合などルールをわかりやすく解説していただき、皆さんに楽しんでいただきました。対戦結果は、教室の終了時間ピッタリに50点ちょうどとなり、ゲーム終了となりました。

参加された方々からは、「初めてモルックをしましたがとても楽しく、次もやりたい。」などのご意見をいただきました。

今後も皆さまのご意見を伺いながら、楽しめる教室を企画していきたいと思ひます。

